

「高齢者を地域で支える体制づくり」の構築を推進し、
 「高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境及び就業の場の創出」を実現します。
 世代や性別などのカテゴリで類型化されず、差別や偏見をなくし、
 高齢者の多様性を認める社会の実現を可能にします。

1 高齢者が活躍できる就業の場や社会奉仕等の活動ができる場の確保と提供



- 性別や年齢での差別・偏見をなくし、働く意欲と能力を持った健康な高齢者のだれにでも参加の道を開きます。
- 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を実施します。
- 知識や経験を活かした就業の提供とともに、新しいことにチャレンジする機会と、地域とつながっていく場を創ります。
- 地域班を主体とした社会奉仕活動を推進し、“ボランティア全員参加”を目指すとともに地域におけるつながり、支え合える基盤をつくっていきます。
- 人生100年時代を迎え、介護で若い世代に負担をかけないように、生涯現役を目指します。

2 高齢者へ学びの場の提供



- 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を実施します。
- 情報難民にならないようデジタルデバイドの解消に努め、気軽に相談できる窓口を開設します。
- 潜在保育士、潜在ヘルパーを掘り起こし、子育てや家事などの分野で、現役世代をサポートするため、豊かな経験を持つシニア世代に学び直しの機会を提供します。
- 「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向けて、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やそのご家族を見守る認知症サポーターの増強に努めます。

3 地域社会との信頼関係確立



- 高齢者の多様なニーズに応じた多様な就業機会を提供するため、町田市をはじめハローワークや社会福祉関係団体等との連携を強化します。
- 適正かつ円滑なシルバー事業の推進のため、全国シルバー人材センター事業協会、東京都シルバー人材センター連合との連携を強化します。
- ボランティア等の社会活動のほか、地域の課題解決につながる活動を行うことができるよう、日頃から地方自治体、町内会、自治会等と連携を強化し、地域貢献にも取り組みます。
- 地域の仕事は地域で「互近助(互いに近くで助け合う)」できる体制を整備します。